

## 2019年度

## 授業概要

科目名	地域作業療法学					授業の種類	講義	必修・選択		必修
授業回数	15	回	時間数	30	時間	1	単位	配当学年時期	2年	前期
【授業の目的・ねらい】										
作業療法の地域展開を理解し、この分野に興味関心を持つこと										
【実務者経験】										
作業療法士としてケアステーションかんざき（公立神崎総合病院）に勤務。身体機能障害及び小児領域のリハビリテーション従事、また、総合事業の企画と支援を行う。										
【授業全体の内容の概要】										
地域の現場を知ること。具体的なプログラムや発信力を身につけるための演習を適宜取り入れる										
【授業終了時の達成課題（到達目標）】										
地域で働くことに興味、関心を持ち、作業療法士として具体的実践につなげるための自信を持つ										
回数	講義内容								準備物(教材)	
1	アイスブレイク、オリエンテーション ＜演習＞最初の一步「相談を受けたあなたはどうか動く？」									
2	生活をとらえる視点（ICF、住宅、生活時間）									
3	暮らしの場で行う支援の意味									
4	プログラム作りのヒント									
5	＜演習＞相手に伝える力をつける「最近の保健医療福祉関係のニュースを伝える」									
6	地域リハビリテーションと制度 （地域包括ケアシステム、地域支援事業、在宅医療介護連携など）									
7	災害への備えと支援									
8	よりよい連携のための考え方									
9	リスク管理									
10	次世代育成と福祉教育									
11	特別支援教育など（誕生から就学までの支援、就学児の支援）									
12	家族支援									
13	＜演習＞集団を動かそう「模擬介護予防教室」									
14	育てること、教えることを考える									
15	まとめ									
定期筆記試験										
【 使用教科書・教材・参考書 】										
ゴールドマスターシリーズ 地域作業療法学（メジカルビュー）										
【 準備学習・時間外学習 】										
自分自身のコミュニケーションスキルを熟知し、地域リハビリテーションとしての各現場での実習に活かせるようしっかり振り返る。										
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】										
試験の結果を100点満点として成績を評価する。 課題の評価50点、定期試験50点として合計100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。										